

# 結婚35周年の節目を祝う 『翡翠婚式』のススメ

## 翡翠婚とは

ブライダルデー(結婚記念日)の結婚25周年を「銀婚式」、50周年を「金婚式」とされています。結婚記念日の中でも結婚35周年は「翡翠婚式」とされており、シニア世代手前の現役時代の結婚記念日としては最後の節目に当たります。世代的には、子供は結婚独立し、初孫の誕生時期に差し掛かり、新しい家族を含めた家族との絆や、これまでのご夫婦の絆を再確認し、新たな充実した時間へのスタートをする時期です。

国石に選定された「翡翠」は新潟県糸魚川市固有の資源であり、古事記には出雲大社の主祭神「大国主命」が翡翠を持つ奴奈川姫の霊力や賢く美しい魅力にひかれ、求愛にきたラブロマンスが残されています。

翡翠は古くからここ糸魚川市で加工され、全国に広がっていったとされており、幸福や繁栄の象徴として珍重されてきました。結婚35周年の節目に、神話に残される奴奈川姫が祀られる天津神社で「翡翠婚式」を行い、夫婦の絆を見つめなおしてみたいかがでしょうか。



## 翡翠婚式は、現役世代最後の 節目となる結婚記念日

結婚から35周年の翡翠婚式を迎える夫婦の平均年齢は60歳代前半で、シニア世代手前の現役時代※1の結婚記念日として最後の節目にあたります。



※1 (65歳定年制を念頭に)リタイアせずに働いている世代。心身共に健康で、消費活動にも旺盛なアクティブ。  
※2 夫・妻の平均婚姻年齢の年次推移 1980年 初婚平均年齢(厚生労働省人口動態統計)  
資料参考「珊瑚婚式(全高知珊瑚協同組合連合会主催)」

## 結婚35周年は、家族の絆を 再確認するのに絶好のタイミング

統計でイメージする  
翡翠婚夫婦の現状

翡翠婚を迎えるご夫婦の子どもは30代前半を迎え結婚・独立し、初孫の誕生時期に差し掛かります。新しい家族を含めた家族の絆を改めて確認するのに最もふさわしく、お二人で愛を育ててこられたご夫婦にとっては、仕事も一段落し、新たな充実した時間へのスタートの時期です。

< 翡翠婚式を迎える夫婦の平均的なライフステージ >

	結婚	長子出生	末子出生	末子学卒	長子結婚	末子結婚	結婚35周年	結婚50周年	男性平均寿命	女性平均寿命
夫(歳)	28	29.5	32	54	60.5	63	78	81		
妻(歳)	25	26.5	29	51	57.5	60	75			87

- 1985年時点での第1子出生時の母親の平均年齢26.7歳、第2子出生時の母親の平均年齢29.1歳
- 2015年時点での平均初婚年齢 男性31.1歳 女性29.4歳(厚生労働省人口動態統計)

## 新潟県糸魚川市は翡翠の聖地

### 日本で初めて見つかった、翡翠の産地

糸魚川の小滝川ヒスイ峡は、国内で初めて見つかったヒスイの産地です。およそ5億年前にできたと考えられるヒスイ原石を、今も間近で見ることができます。



### 世界最古のヒスイ文化発祥の地

全国の縄文時代の遺跡からヒスイの勾玉が見つっていますがそのヒスイを調べると、糸魚川産のヒスイが使われていたことが分かっています。

糸魚川の遺跡からは、ヒスイを加工したと思われる場所が見つかっており、糸魚川で加工されたヒスイ製品が全国各地に広がっていったのです。

### ヒスイの聖地に生きた、奴奈川姫

日本最古の物語「古事記」に、糸魚川地域を治めていた奴奈川姫が登場します。大国主命におおくにぬしのみこととプロポーズされた奴奈川姫もヒスイを身にまとい、その力を利用していたのかもしれません。



## 翡翠が持つパワー

パワーアイテムの元祖“翡翠”  
その聖地・糸魚川で翡翠婚を開催

古代越の国「糸魚川」から全国に広がった翡翠は、幸福や繁栄の象徴として珍重されてきました。翡翠加工が伝統産業として発展した「糸魚川」から、夫婦関係や新たな家族との絆を見つめ直す機会として、翡翠婚を提唱します。

< 古来より翡翠が持つ力とされていたこと >

魔除け 子宝 長寿

< 翡翠婚式が提唱すること >

夫婦円満 仲よし家族 絆の再確認

一生に一度の『節目婚』を祝いませんか？